

由布市環境基本計画の施策評価

(平成28年度～令和7年度)

令和8年3月

■施策の概要

環境目標	1 大分川水系の水を清らかにし、水辺を守り、親しまう
ゾーン	川

すべての命を育む水環境が豊かなものであるように、各主体が「どのような水環境であってほしいか」を考え、そのイメージを共有しながら、実現に向けて行動することが大切です。

この環境目標の実現によって、水資源を守り、後世にも美しい水環境を残していくことができ、多様な生物の生息・生育環境を守ることもつながると考えます。

■施策指標

施策指標	計画策定時 (平成25年度)	中間値 (平成30年度)	中間値 (令和3年度)	中間値 (令和5年度)	最新現況年 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
汚水処理人口普及率	65.9%	77.9%	82.2%	83.8%	84.3%	89.5%	×

○参考データ

項目	計画策定時 (平成25年度)	中間値 (平成30年度)	中間値 (令和3年度)	中間値 (令和5年度)	最新現況年 (令和6年度)
河川水質調査環境基準達成率	85.0%	88.3%	85.8%	95.0%	91.7%

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
① 水環境の現状を調べ、あるべき姿を考え、実施しよう	水環境の現状や問題点を調査・把握し、あるべき姿を市民等、事業者、行政で共有し、対応策を検討・実施する	例：河川整備計画への市民意見の反映、モデル事業などによる対応策の検討・実施	▶豊かで美しい由布の環境連絡会議の設置により、市内の環境関連団体の協働・連携の機会を醸成 ▶流域会議での水環境向上モデル事業の検討・実施	B 概ね計画通り達成できた	環境課
		啓発イベントの実施	▶流域会議主催による河川の美化清掃活動「護美拾い運動」や「親子釣り大会」の開催	B 概ね計画通り達成できた	
		河川や湖沼の水環境の多面的な調査と取組のロードマップの作成	▶ロードマップ作成を目指し、市民参加型の水環境調査「ゆふしらべ」を企画し、市内の河川の現地調査やワークショップを開催	C あまり達成できなかった (令和元年度に市内河川の現地調査等を行ったものの、単発に終わり事業の継続性・発展性を持たせることができなかった)	
② 河川保全団体を育成しよう	大分川水系の河川のあり方を考える組織(流域会議)を設立・支援する	同左	▶「豊かな水環境創出ゆふいん会議」の活動支援・補助 ▶「狭間水環境利活用推進会議」「庄内水の輪会議」の設立までの協力、活動の支援・補助	A 計画通り達成できた	環境課
③ 森を健やかにし、水源を守り、水を浄化しよう	森林の水循環の現状把握及びモデル事業の実施	森林の水循環の現状把握	▶森林環境議与税活用による未整備森林整備事業の実施	B 概ね計画通り達成できた	環境課
		土砂崩れ等の危険箇所の現地調査	▶市と関係機関にて市内の災害危険箇所を調査し把握する防災パトロールを実施 ▶県担当課とともに山地災害危険箇所点検を実施	A 計画通り達成できた	農林整備課 防災危機管理課
		間伐や林種転換などのモデル事業の検討	▶森林環境議与税活用による未整備森林整備事業(間伐)の実施	B 概ね計画通り達成できた	建設課
	水道水源保護条例による規制	水道水源保護条例の運用による水源地の保護	▶水道水源条例の適正運用(審議)産業廃棄物処理場1件、岩石採取1件、太陽光発電設備1件、旅館ホテル等2件、温泉掘削2件	A 計画通り達成できた	水道課
		水源地の水質調査結果の公表	▶市HPにて水質検査結果値の公表	A 計画通り達成できた	

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
④ 川や湖沼の水をきれいにしよう	温泉排水処理策の検討	同左	▶大規模開発において温泉排水処理時の水温管理の徹底、調整池の建設などの対応策の指導	C あまり達成できなかった (個別の開発計画については対応の都度指導はしたものの、全体的な方策の検討までは至らなかった)	環境課 地域振興課
	河川水質調査結果の公表	同左	▶大分川上流域から中流域並びに賀来川までの12地点において水質検査を毎年実施	A 計画通り達成できた	
	合併浄化槽の設置推進(汲み取り、単独浄化槽からの転換)	同左	▶合併処理浄化槽の設置及び既存槽撤去費用等に対する補助金支出 ▶合併浄化槽への転換啓発チラシの配布及び回覧	A 計画通り達成できた	
	浄化槽の維持管理方法の周知や実践洗剤等の使い方など)	同左	▶新規の設置者等を対象とした浄化槽維持管理講習会の実施 ▶水環境保全啓発チラシの配布及び回覧	A 計画通り達成できた	
	パトロール、看板やカメラの設置等 不法投棄対策	同左	▶通報による随時対応に加え、環境監視員による年1回のパトロールを実施 ▶不法投棄注意看板の設置	B 概ね計画通り達成できた	
⑤ 水辺の生き物の多様性を守ろう	希少種の調査・保護	希少種の分布状況の整理と保護措置の検討	▶地域学校協働活動推進員を活用し、小学生を対象とした希少種生物の学習会を実施 ▶環境アドバイザーを招いて水辺の生物の学習会を実施	A 計画通り達成できた	環境課 社会教育課 地域振興課
	在来種の生息・生育に適した環境を整備・再生	例:金鱗湖のヨシ原整備	▶オンセンミズコマツボの定期的な個体数調査を実施	C あまり達成できなかった (調査に終わり、整備や再生に結びつく事業実施はできていない)	
	外来種への対策(駆除活動、啓発)	市報・市ホームページへの記事掲載、パンフレットの配布、勉強会の開催、外来種の駆除	▶特定外来生物の啓発ポスターの掲示及びチラシの配布 ▶アライグマ防除講習会の開催及び捕獲機(箱わな)の貸出	B 概ね計画通り達成できた	
⑥ 水と親しめる空間や機会をつくろう	市民のいこいの場所として、多自然工法を採用した親水場を整備する	多自然工法による親水場の整備と定期的な手入れ	▶実施できていない	E 実施しなかった (住民との協議や機運の醸成が必要であり実施が困難であった)	環境課 建設課 地域振興課
	河川工事や小川整備における多自然工法の採用	河川整備や小川整備による多自然工法の採用	▶環境保全型のブロックの採用	B 概ね計画通り達成できた	
	河川を身近に感じられるようなイベントや事業の実施	例:河川愛護デー、河川学習会、リバーウォーク、ピオトーブ	▶自治区の協力による河川愛護草刈活動の実施 ▶流域会議主催による河川の美化清掃活動「護美拾い運動」や「大分川親子釣り教室」の開催	B 概ね計画通り達成できた	



▶市民参加型の水環境調査「ゆふしらべ」



▶流域会議主催による「大分川親子釣り教室」の開催

■施策の概要

環境目標	2 多様な機能を持つ、森、里山、牧野の風景を守り、育てよう
ゾーン	森・里山・牧野

森、里山、牧野の有するさまざまな機能を適切に発揮できるようにするためには、その機能の重要性を再認識しつつ、手入れなど適切な対応を行っていくことが大切です。
この環境目標の実現によって、森、里山、牧野を守り、後世にも美しい里の風景を残していくことができ、多様な生物の生息・生育環境を守ることにもつながると考えます。

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
① 原生林を守ろう	森林法や自然公園法、県立自然公園条例に基づく原生林の保護	法令に基づく原生林の保護	▶文化財指定により所有者と市で適正に保護 ▶事業体に対し森林法や公園法等の法令遵守の指導の実施	A 計画通り達成できた	環境課 農林整備課 社会教育課
		自然保護意識を高めるための啓発活動	▶緑の募金や緑化木配布による自然保護啓発活動 ▶森ネットおおいとの連携による間伐材を活用した「門松カード」の配布による自然保護啓発活動	B 概ね計画通り達成できた	
② 多様な機能を発揮できる森林をつくろう	森林の水循環の現状把握及びモデル事業の実施	森林の水循環の現状把握【再掲】	▶森林環境譲与税活用による未整備森林整備事業の実施	B 概ね計画通り達成できた	環境課 農林整備課 建設課 防災危機管理課
		土砂崩れ等の危険箇所の現地調査【再掲】	▶市と関係機関にて市内の災害危険箇所を調査し把握する防災パトロールを実施	A 計画通り達成できた	
		間伐や林種転換などのモデル事業の検討【再掲】	▶森林環境譲与税活用による未整備森林整備事業(間伐)の実施	B 概ね計画通り達成できた	
	森林整備計画に基づく森林の有する機能の維持増進	同左	▶森林環境譲与税活用による未整備森林整備事業や林道整備の実施	B 概ね計画通り達成できた	
③ 環境に配慮しながら林業を育成しよう	森林資源の活用策の検討(六次産業化)	同左	▶森林環境譲与税活用による木材利用の実施	B 概ね計画通り達成できた	農林整備課 公共建築物建設担当課
	環境に配慮した林業の基盤整備事業(林道の整備など)の推進	同左	▶森林環境譲与税活用による林道整備	A 計画通り達成できた	
	林業家の後継者グループの育成・活動の推進	同左	▶森林環境譲与税活用による林業就業改善事業にて資材購入の補助	A 計画通り達成できた	
	公共建築物等における地域材の利用促進	同左	▶公共施設又は各種事業において県産木材の利活用の促進 活用実績例 ・サテライトオフィスのカウンター ・グリーンスローモビリティのバス停 ・由布院駅前広場設置のテーブル ・小学校教室の間仕切り壁 ・新築校舎の内壁 ・その他施設改修	A 計画通り達成できた	
④ 山の風景を守ろう	パトロール、看板やカメラの設置等、山中への不法投棄の防止策の実施	同左	▶通報による随時対応に加え、環境監視員による年1回のパトロールを実施 ▶不法投棄注意看板の設置	B 概ね計画通り達成できた	環境課 地域振興課 都市景観推進課 農林整備課 農政課
	景観条例、再生エネ条例、開発関連条例等による、典型的な視点からの眺望景観の維持・保全	同左	▶条例の適正運用による景観保全	A 計画通り達成できた	
	農業、林業、畜産業への理解の増進	市報・市ホームページにおける記事掲載、パンフレットの配布等	▶市報及び市HPにて農林業・畜産業への関心を高める情報発信	B 概ね計画通り達成できた	

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
⑤ 森とふれ合う場や機会をつくらう	登山道やウォーキングコースの整備及び情報発信	同左	▶総合政策課に由布市クアオルト推進協議会事務局を置き、全国クアオルト協議会大会に向けた活動準備中	D 達成できなかった (ウォーキングについては認定コースはあるものの、新規の整備などの取り組みができていない)	総合政策課
	緑豊かな公園へのいこいの場の整備	同左	▶都市公園の整備や緑化を定める緑の基本計画の策定検討中 ▶森林公園管理への補助	C あまり達成できなかった (緑の基本計画の策定について引き続き検討中である)	都市景観推進課 環境課
	自然観察会の開催	同左	▶自然環境教室の実施 ▶体験活動フィールドワークにおいて男池等の自然学習の実施	B 概ね計画通り達成できた	社会教育課
⑥ 人の営みによりつくられる里山や牧野を守ろう	里山や牧野を巡るウォーキングコースなどの整備及び情報発信	同左	▶総合政策課に由布市クアオルト推進協議会事務局を置き、全国クアオルト協議会大会に向けた活動準備中	D 達成できなかった (ウォーキングについては認定コースはあるものの、新規の整備などの取り組みができていない)	総合政策課
	耕作放棄地対策など、里山の荒廃防止策の検討	同左	▶里山の荒廃防止策を検討中 ▶耕作放棄地対策に係る補助制度を検討中 ▶農地利用最適推進による毎年1回の農地パトロールの実施	A 計画通り達成できた	農政課 農業委員会 防災危機管理課
	野焼きの継続のための技術伝承や人材育成	同左	▶実施できていない	E 実施しなかった (野焼き箇所の周辺住民との調整がうまくできず、技術伝承や人材育成までに至らなかった)	地域振興課 環境課
	現状を把握したうえで、間伐や林種転換(適地適木)のモデル事業の実施(防災の観点からも)	間伐や林種転換などのモデル事業の検討【再掲】	▶森林環境譲与税活用による未整備森林整備事業(間伐)の実施	A 計画通り達成できた	森林整備課
⑦ 里山や牧野の生物の多様性を守ろう	里山や牧野の希少生物の保護対策や啓発	希少生物が多く分布している地域の保護 市報・市ホームページにおける記事掲載、パンフレットの配布等	▶里山風景や貴重な生態系を有す「おおいの重要な自然共生地域」として指定された庄内町平石地区・湯布院町大分川源流域に、大分県との協力により啓発案内板の設置及び広報活動	C あまり達成できなかった (生物分布状況の整理など具体的な取り組みはできていない)	環境課
	鳥獣被害対策	捕獲や食害等防止資材の設置等	▶市猟友会との連携による有害鳥獣駆除 ▶鹿の食害防止ネット設置費用の補助	A 計画通り達成できた	森林整備課



▶森林環境譲与税活用による未整備森林整備事業(間伐)の実施

▶県産木材の利活用の促進(神楽殿縁板部分の改修)



■施策の概要

環境目標	3 食や生き物を支える農地とその風景を守り、育てよう
ゾーン	農地

私たちの営みを支え、多様な生物を育む場ともなる農地を守るためには、各主体が農業を身近に感じ、環境に配慮した農業の実現に取り組むことが大切です。この環境目標の実現によって、農業生産の場と食文化を守り、後世にも美しい農村風景を残していくことができ、多様な生物の生息・生育環境を守ることにもつながると考えます。

○参考データ

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
① ころろ落ち着く農村風景を守ろう	再生エネ条例、景観条例、開発関連条例等での開発の規制誘導	同左	▶条例の適正運用による景観保全	A 計画通り達成できた	都市景観推進課
	市民農園の推進	市民ふれあい農園の利用推進	▶ふれあい農園の維持管理・整備 ▶利用者増に向け空き区画を活用しイベントを開催	B 概ね計画通り達成できた	農政課
② 生物多様性に配慮した農業を推進しよう	環境配慮型の水路の推奨	同左	▶実施できていない	E 実施しなかった (周知・広報が思うように行えなかった)	農政課 環境課
	農地の生物多様性の状況把握	同左	▶実施できていない	E 実施しなかった (生物分布状況の整理など具体的な取組に至らなかった)	
	環境保全型農業の推進	環境保全型農業の活動に対する支援	▶多面的機能支払交付金を31組織に交付し、農地等の保全活動を推進 ▶環境保全型農業直接支払交付金を3団体に交付	A 計画通り達成できた	
	有機農業の推進	同左	▶有機農業の生産者(団体)に対し環境保全型農業直接支払交付金を交付	A 計画通り達成できた	
③ スローフードを推進しよう	スローフードの推進	「食」を生かしたまちづくり	▶実施できていない	E 実施しなかった (周知・広報が思うように行えなかった)	農政課
	地産地消の推進	同左	▶市給食センターへ特定の野菜を出荷している地元生産者への助成	B 概ね計画通り達成できた	商工観光課
④ 農業を身近に感じよう	農業経営者や新規就農者、若手農業経営者ネットワーク、集落営農組織等の育成	同左	▶由布市グリーンツーリズム研究会との連携 ▶梨園地流動化協議会との連携により新規就農者の募集及び研修の実施 ▶農業スタートアップファームの開設及び利用者募集	A 計画通り達成できた	農政課 商工観光課 農業委員会
	市民農園の推進	市民ふれあい農園の利用推進【再掲】	▶ふれあい農園の維持管理・整備 ▶利用者増に向け空き区画を活用しイベントを開催	B 概ね計画通り達成できた	
	農業体験やグリーンツーリズムなどの機会の創出	同左	▶グリーンツーリズム・教育旅行の受入の推進	B 概ね計画通り達成できた	
	六次産業化の推進	同左	▶梨ピューレ等規格外農作物を利用した特産品の開発 ▶創業支援事業の活用により六次産業化を目指す事業者に対し販売促進につながる取組を支援	B 概ね計画通り達成できた	
	遊休農地や耕作放棄地の解消	農地流動化の促進など	▶農地利用最適推進による毎年1回の農地パトロールの実施	C あまり達成できなかった (農業委員会での農地パトロールにより遊休農地の把握はできているが、農地の幹旋や農地バンクの登録件数の確保は苦慮している)	

■施策の概要

環境目標	4 快適で環境負荷の少ない暮らしを創造しよう
ゾーン	暮らし

私たちは豊かな暮らしを営む権利があると同時に、その暮らしが環境に与える影響を最小限にする義務も負っており、各主体が環境への負荷をできるだけ減らした生活や事業活動に取り組むことが大切です。
この環境目標の実現によって、持続可能な健康で安全な暮らしを守ることができると考えます。

■施策指標

施策指標	計画策定時 (平成25年度)	中間値 (平成30年度)	中間値 (令和3年度)	中間値 (令和5年度)	最新現況年 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
汚水処理人口普及率	65.9%	77.9%	82.2%	83.8%	84.3%	89.5%	×

○参考データ

項目	計画策定時 (平成25年度)	中間値 (平成30年度)	中間値 (令和3年度)	中間値 (令和5年度)	最新現況年 (令和6年度)
自動車騒音常時監視環境基準達成率	91.4%	96.5%	96.9%	99.4%	99.8%

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
① 良好な生活環境を創造しよう	温泉排水の処理策の検討	同左【再掲】	▶大規模開発において温泉排水処理時の水温管理の徹底、調整池の建設などの対応策の指導	A 計画通り達成できた	環境課
	在来種の街路樹等による緑化	同左	▶開発指導において在来種樹木の指定による地域緑化の推進	A 計画通り達成できた	建設課 環境課
	合併浄化槽の設置推進(汲み取り、単独浄化槽の転換)	同左【再掲】	▶合併処理浄化槽の設置及び既存槽撤去費用等に対する補助金支出 ▶合併浄化槽への転換啓発チラシの配布及び回覧	A 計画通り達成できた	環境課
	浄化槽の維持管理方法の周知と実践(洗剤等の使い方など)	同左【再掲】	▶新規の設置者等を対象とした浄化槽維持管理講習会の実施 ▶水環境保全啓発チラシの配布及び回覧	A 計画通り達成できた	環境課
	農業集落排水施設の維持管理	同左	▶専門業者への委託による定期点検、放流水質検査の毎月実施 ▶故障時の迅速な修繕対応及び老朽設備の計画的な更新	A 計画通り達成できた	環境課
	PM2.5等環境情報の提供	同左	▶テレメーターシステム「大分県大気環境情報」による常時の観測情報の公表 ▶注意喚起情報発令時には市HPでの公表及び保育所・各学校等へ情報提供、広報車での周知	A 計画通り達成できた	環境課
	市営火葬場の維持管理	同左	▶市営火葬場「雲浄苑」「望岳苑」の安定的な運営及び維持補修 ▶火葬炉の老朽化に伴う再整備計画検討中	A 計画通り達成できた	環境課
	市管理の下排水管(浄化槽排水路)や公衆トイレの管理	同左	▶委託による公衆トイレの日常清掃 ▶排水管の詰まりや公衆トイレの故障時の迅速な修繕対応	A 計画通り達成できた	環境課 地域振興課
	自動車騒音の監視	自動車騒音の常時監視	▶市内の交通量の多い幹線道路周辺を対象とし自動車騒音の常時監視	A 計画通り達成できた	環境課
	不法投棄や、違法な野外焼却をしない、させない環境づくり	パトロール、カメラなどによる監視	▶通報による随時対応に加え、環境監視員による年1回のパトロールを実施 ▶不法投棄注意看板の設置 ▶野外焼却に関する注意喚起チラシの回覧	B 概ね計画通り達成できた	環境課 地域振興課
動物の適正飼養の推進	市報・市ホームページにおける記事掲載、パンフレットの配布	▶狂犬病予防集合注射の毎年実施 ▶犬猫の適正飼養に関する市報掲載・回覧による啓発 ▶地域猫活動(大分県さくら猫プロジェクト)の推進 ▶地域猫避妊・去勢手術費の補助	A 計画通り達成できた	環境課	
花いっぱい運動の実施	同左	▶フラワーサポーター登録者に対する菜の花(令和4年度までの配布)またはコスモスの種配布	A 計画通り達成できた	環境課 地域振興課	

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価/未実施の理由	担当課
② 開発は環境負荷を最小限にしよう	希少種の調査・保護	希少種の分布状況の確認、保全対象の検討・保護	▶オンセンミズコマツボの定期的な個体数調査を実施	B 概ね計画通り達成できた	環境課 都市景観推進課
	開発関連条例、再生エネ条例、景観条例等による規制、誘導	同左	▶条例の適正運用による景観保全	A 計画通り達成できた	
③ 環境先進事例に学ぼう	環境先進事例の情報提供	同左	▶環境講演会・環境フォーラムの開催及び各種団体での研修において先進地事例の情報収集及び発信	B 概ね計画通り達成できた	環境課



▶不法投棄注意看板の設置

～6月は環境月間 みんなで環境のことを考えよう～ **班回覧**

きれいな水環境のためにできること

1 合併浄化槽を設置する
 家庭から出る排水は、全トイレからの排水である「尿」と厕所や風呂などの排水である「生活雑排水」の2種類があります。この2種類の排水とも処理することができる浄化槽は、大分県及び由布市では、清潔で快適な生活と豊かな水環境のために**工事費用の補助により合併浄化槽の設置を推進**しています。申請制度の概要は裏表へ。自宅で生活排水の処理を取り除くことで、合併浄化槽への設置替えを考えてみてください。

2 生活雑排水の負荷を減らす
 浄化槽の処理能力にも限界はあるため、水を汚さないための工夫により生活雑排水の負荷を減らすことが大切です。特に、台所からの排水には有機物(食品の食べ残しや油)が多く含まれており、この有機物を分解している水中の微生物の活動が弱くなることで浄化能力が低下してしまいます。
 水を汚さないための工夫
 ・調理くずや油や洗剤を水切りネットなどで回収して捨てるようにする
 ・食器や鍋のひたし水や油をキッチンペーパーなどで吸きとってから流す
 ・洗濯機で洗濯して捨てる水の量を減らすようにする。など
 などと工夫が「使いきり」や「食べ残し」「衣類」を回収する3R活動は、生活雑排水の負荷を減らすだけでなく、ゴミの減量や食品ロス削減の促進にもつながります。
 自治体では、最先端な「住居型再生エネルギー設備の購入費用の補助」によりごみの減量を推進しています。申請制度の概要は裏表へ。

このチラシの内容や補助制度についてのお問い合わせは
 由布市 環境課 TEL 097-582-1310

▶水環境・浄化槽普及の啓発

班回覧

雑草やゴミを片付けましょう!

最近、近所の**雑草やゴミ**についての相談が寄せられています。近隣や両面の方へ配慮をお願いします。

雑草が隣家へ侵入 敷地内にゴミを放置

雑草の繁殖やゴミの放置は近隣の方々に不快感を与え、病害虫が発生する原因になります。また、ゴミの不法投棄の誘発や火災の原因にもなりかねません。

雑草が近所のお宅に入ったり、ゴミの放置により洗濯物へおびがついたり、害虫が発生するなどがあります。**敷地改善を促しに管理**しましょう。

※隣人の家へ出たゴミは個人で適切に処理しましょう!

お問い合わせ先
 由布市 環境課 097-582-1310

▶生活環境向上の啓発

おいいた さいわいプロジェクト

「つなげよう ひろげよう いちの箱」

2019年5月、大分県環境・おおいいた動物愛護センターがオープンしました。同時に、動物の保護活動が「動物月」2020年。

このため、動物と保護活動の推進と連携して取り組む。保護活動の推進は動物愛護月(5月)2、3日間の限り、この日も約70%が実施されてきた。保護活動の推進は動物愛護月(5月)2、3日間の限り、この日も約70%が実施されてきた。

動物愛護センター
 〒870-1201 大分県大分市延福町3231 電話 47

▶大分県さくら猫プロジェクトの啓発



▶環境講演会・環境フォーラムの開催

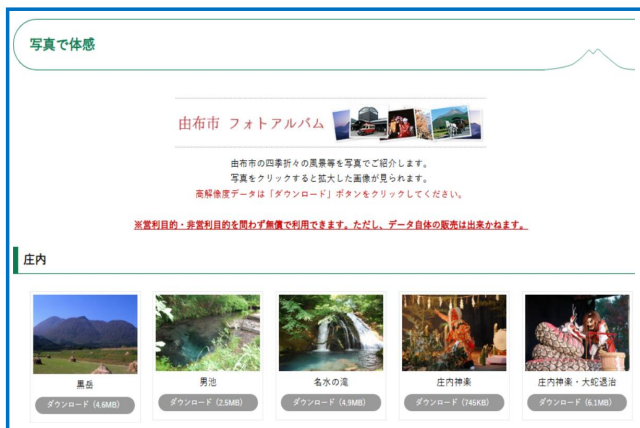
■施策の概要

環境目標	5 由布市のお宝を発見し、守り、育てよう
ゾーン	共通

由布市のお宝となる地域の魅力の存在によって、市民が郷土に誇りや愛着を持つとともに、市内外に情報発信することができます。その結果、さまざまな交流が生まれ、各主体が由布市の地域資源に関心を持ち、その保全・育成活動に取り組むことが大切です。
この環境目標の実現によって、由布市の魅力ある地域資源を、広くまた後世に伝えていくことができると考えます。

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価/未実施の理由	担当課
① 由布市のお宝をみんなで見つけて育てよう	地域の誇れる環境・景観写真展の開催	同左	<ul style="list-style-type: none"> ▶自然風景・動植物をテーマとした環境写真子どもコンテストを企画し、庄内公民館にて写真展開催 ▶湯布院ラックホールにて由布岳をテーマとした写真展を開催 ▶自然風景などの写真を随時募集し、市HP「由布市フォトアルバム」ページにて無償利用できるように掲載 	B 概ね計画通り達成できた	環境課 都市景観推進課
	由布市の豊かな自然を実感できる場や機会の確保	自然観察会やグリーンツーリズム、遊歩道など	<ul style="list-style-type: none"> ▶体験活動の一環で、男池や由布岳登山等を通じて自然の豊かさを体験・学習 ▶グリーンツーリズム・教育旅行の受入の推進 ▶由布川峡谷バックラフトツアー及びリポートレッキングの実施 	A 計画通り達成できた	各施設管理者 環境課 農政課 社会教育課
	小学生の体験活動(お宝探検隊)の推進	同左	▶各種体験活動で由布市の各地域をフィールドに自然環境学習を実施	B 概ね計画通り達成できた	社会教育課 環境課
	小中学校における環境教育の時間の確保	同左	▶各小中学校で「世界環境デー」に合わせた環境集会や環境授業を各学級で実施	A 計画通り達成できた	学校教育課 環境課
	文化財、天然記念物、希少種の保全・啓発	市報・市ホームページにおける記事掲載、パンフレットの配布や勉強会の開催等	▶文化振興の一環で文化・環境学習を実施(地域の文化財巡り など) ▶市報「木綿の山通信(文化財紹介コーナー)」を毎月掲載	A 計画通り達成できた	社会教育課 環境課
	ジオパーク事業の調査・研修	貴重な地質遺産等の教育学習活動や観光などへの活用	▶由布市内のジオパーク地点の観光資源としての活用及び「由布学」での素材活用	B 概ね計画通り達成できた	総合政策課 社会教育課 商工観光課
	温泉や自然など地域資源を活かすクアオルト(滞在型健康保養地)活動の推進	同左	▶総合政策課に由布市クアオルト推進協議会事務局を置き、全国クアオルト協議会大会に向けた活動準備中	C あまり達成できなかった(現状のクアオルトの主な取組は温泉館での水中運動であり、ウォーキングコースの整備などの取り組みができていない)	総合政策課 クアオルト関係課
	地域のシンボルである樹木を最重要樹木に指定	地域の要望に応じた景観重要樹木の指定・保全	▶実施できていない	E 実施しなかった(指定に関する地域からの要望はなかった)	都市景観推進課



▶市HP「由布市フォトアルバム」ページ



▶男池の自然体験・学習

■施策の概要

環境目標	6 これからの環境のことを考えよう
ゾーン	共通

由布市の魅力を高めていくためには、交流者も含めた各主体が環境を大切に考え、環境学習をはじめとした環境に配慮したふるまいを行うことが大切です。この環境目標の実現によって、由布市の環境をよりよい状態で次の世代へと継承していくことができると考えます。

■施策を構成する主な取組の実施状況

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価／未実施の理由	担当課
① みんなで環境を守ろう	環境基金の検討(市民等、事業者、交流者などから)	同左	▶新たな財源検討委員会での検討をす すめ、入湯税の超過課税分の収納額を 財源とする「環境・観光振興基金」を創 設	B 概ね計画通り達成できた	環境課 地域振興課 商工観光課
	地域でのボランティアの清掃活動に関する支援	同左	▶一斉清掃や地域美化活動への参加促 進のためボランティア用ごみ袋の配付	A 計画通り達成できた	環境課 地域振興課
	クリーン作戦や河川愛護デーなど環境美化活動の推進	同左	▶自治区との協力により湯布院一斉清 掃デーの実施	B 概ね計画通り達成できた	環境課 建設課
	市報などによる環境活動の紹介と活動の顕彰	同左	▶市報及び市HPでの記事掲載により 環境イベントや清掃活動等の様子を紹 介 ▶大分県や財団法人等の表彰制度に積 極的な環境活動を継続している個人 や団体を表彰候補として推薦	B 概ね計画通り達成できた	環境課
	必要に応じて環境関連条例を制定	同左	▶オーバーツーリズムによるごみ散乱・ 生活環境悪化の対策として「ポイ捨て 等防止に関する条例」を検討・制定	B 概ね計画通り達成できた	環境課
② みんなで環境のことを学ぼう	各世代に適した環境学習の推進	環境学習プログラムの検討・実施	▶小学生を対象に水生生物に関する環 境学習リーフレットの作成	B 概ね計画通り達成できた	環境課 社会教育課 学校教育課
	環境保全に関する啓発活動	市報・市ホームページにおける 記事掲載、パンフレットの 配布等	▶環境講演会・環境フォーラムの開催	B 概ね計画通り達成できた	環境課
	環境活動をリードする人材の育成	人材育成に向けた学習プロ グラムの検討・実施	▶各学校での環境教育の充実や環境講 演会の実施により、学校全体や家庭で 行うエコ活動への児童生徒の主体的 参加を促進	B 概ね計画通り達成できた	環境課 社会教育課 学校教育課



▶湯布院一斉清掃デーの実施



▶「ポイ捨て等防止に関する条例」による重点地域の指定

■施策の概要

環境目標	7 限りある資源やエネルギーをもったいない精神でかしく使おう
ゾーン	共通

日々の営みで使う資源やエネルギーは有限であり、地球は次世代からの借り物であるという認識を持ち、各主体が環境に配慮しながらエネルギーや資源の適切な利用を心がけることが大切です。
この環境目標の実現によって、地球環境を守り、後世にも持続可能な社会を引き継いでいくことができると考えます。

■施策指標

施策指標	計画策定時 (平成24年度)	中間値 (平成30年度)	最新現況年 (令和3年度)	目標値 (令和12年度)	達成状況
市域からの二酸化炭素排出量	29.7万t-CO2	28.0万t-CO2	27.2万t-CO2	24.9万t-CO2	×

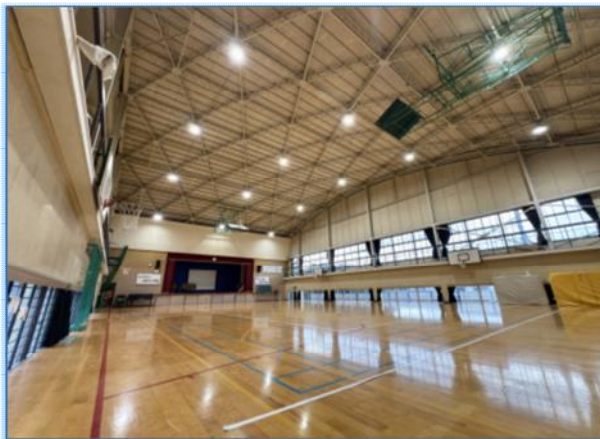
※計画策定時の数値に修正あり

施策指標	計画策定時 (平成25年度)	中間値 (平成30年度)	中間値 (令和3年度)	中間値 (令和5年度)	最新現況年 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
1人1日あたりのごみ排出量	977g/人・日	1,030g/人・日	857g/人・日	673g/人・日	874g/人・日	900g/人・日	○
リサイクル率	6.9%	7.9%	9.2%	10.0%	8.6%	15.0%	×

■施策を構成する主な取組の実施状況

	基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価/未実施の理由	担当課
①	エネルギーや資源を大事に使おう	公共施設や公用車、街灯における省エネルギーの推進	太陽光発電システム、次世代自動車の導入、街灯のLED化等	<ul style="list-style-type: none"> ▶排出ガス基準低減・低燃費の公用車の導入 ▶自治区防犯灯の設置交換補助(LED推奨) ▶高効率モーター搭載の水道ポンプを採用 ▶小中学校・幼稚園手洗場自動水洗化 ▶小学校体育館照明LED化 	B 概ね計画通り達成できた	全庁
		建築物の省エネルギーの推進	断熱改修、省エネルギー型機器の導入	▶実施できていない	E 実施しなかった (具体的な取り組みについて他市の動向を参考にしつつも、実施に至らなかった)	環境課
		温泉熱や小水力エネルギーの有効利用	同左	▶市内各所の源泉の調査により温泉熱利用設備導入の事業可能性の検討	C あまり達成できなかった (温泉熱利用の可能性を調査したものの、その後の事業実施までに結びつけることはできなかった)	環境課
		中小企業へのエコアクション21などの認証取得の推進	認証取得企業への入札加点等の検討	▶大分県主催「エコアクション21取得説明会」に関して市HPで周知	C あまり達成できなかった (エコアクション21の周知に留まり、入札加点の検討等の具体的な検討が図れなかった)	環境課 財政課
		再生エネ条例の運用による再生可能エネルギー事業と地域の持続的な発展や環境との調和の誘導	同左	▶条例の適正運用による景観保全	A 計画通り達成できた	都市景観推進課
		由布市地球温暖化対策地域協議会との協働活動の推進	環境講演会、視察研修、地域イベントの参加の推進	▶「由布市地域温暖化対策地域協議会」の講演会・研修の企画 ▶地域イベントでの温暖化防止啓発活動を協働して実施	A 計画通り達成できた	環境課
		市民・事業者の省エネ・エコ活動の支援・推進	情報提供、緑のカーテンコンテストなど	▶10月「レジ袋削減強化月間」でのエコバック配布による啓発活動 ▶緑のカーテンコンテストの開催及びゴーヤの苗等の配付	B 概ね計画通り達成できた	環境課
水の有効利用の推進	節水に関する啓発	▶6月「水道週間」での広報や社会見学・職場見学等において、水を大切にすることを意識の啓発	A 計画通り達成できた	水道課		
②	ごみを減らそう リサイクルしよう	ごみの減量化の推進(ひとしほり運動など)	同左	<ul style="list-style-type: none"> ▶学校や自治会等での学習会の開催 ▶生ごみの水切り袋等の配付、啓発ポスターの掲示及びチラシの配布 ▶家庭での電気式生ごみ処理機またはコンポスト購入に対する補助 	B 概ね計画通り達成できた	環境課
		リサイクル率の向上(分別の徹底、リサイクルに関する啓発など)	同左	<ul style="list-style-type: none"> ▶学校や自治会等での学習会の開催 ▶市報に「大分エコライブラザ」の情報を毎月掲載、啓発ポスターの掲示及びチラシの配布 ▶株式会社ジモティーとごみ減量に向けた協定締結 	C あまり達成できなかった (啓発は継続して行ったが、リサイクル率の向上には思うように結びつかなかった)	環境課

基本施策	具体的な取組	取り組み内容	実施状況	評価/未実施の理由	担当課
② ゴミを減らそう リサイクルしよう	くるくるリサイクル運動の推進	同左	▶着なくなった子ども服や使わなくなった育児用品などのリサイクル交換会を年3回実施	A 計画通り達成できた	健康増進課
	ゴミの出し方のルール徹底、見直しの検討	「正しいゴミの出し方」パンフレットの作成・配布	▶ゴミの分別をわかりやすく検索できる「ゴミ分別事典」の発行及び全戸配布 ▶市LINEでAIチャットによるゴミ分別検索の案内	B 概ね計画通り達成できた	環境課
	不燃ゴミの有料化の検討	同左	▶環境審議会での審議や環境関係団体への聴き取りにより不燃ゴミ有料化の検討中	D 達成できなかった (検討は進めたものの、現在も環境審議会にて継続審議中であり実施に至らなかった)	環境課
③ 温泉を大事に使おう	森林の水環境の現状把握及びモデル事業の実施	森林の水循環の現状把握【再掲】	▶実施できていない	E 実施しなかった (温泉に特化した森林の水環境の調査はできていない)	環境課
		間伐や林種転換などのモデル事業の検討【再掲】	▶実施できていない	E 実施しなかった (温泉に特化した森林の水環境の調査はできていない)	商工観光課
	温泉資源監視基礎調査の実施	同左	▶湯布院4地点での温泉水位・泉温・湧出量等の調査を毎月実施 ▶調査結果は大分県温泉監視調査委員会への報告により公表	B 概ね計画通り達成できた	環境課
	地域資源・観光資源である温泉源の保護と適正利用の推進	揚湯量の調整など	▶湯平共同温泉の維持管理及び新泉源掘削工事の実施	C あまり達成できなかった (市全体に対する温泉の適正利用の推進・啓発は実施できていない)	環境課 財政課 商工観光課



▶小学校体育館照明LED化



▶地域イベントでの温暖化防止啓発活動



▶ゴミ分別の啓発



▶ゴミ減量化の啓発



▶ゴミ減量化の啓発